

く どう なお みち 工藤直道

NO.1 2023.11.26

議/会/報/告

八幡平市議会第3回定例会(9/11~10/2)一般質問から

質疑答弁(要約版)

ございます。

文化施設に関しまし

大更駅周辺及び隣接地域の まちづくり環境整備について

想定事業着手時期を短期5年以内とするものが22事業、中期10年以内とするものが3事業、長期10年超えとするものが4事業と目標を定め、事業を図られてきました。事業着手5年以内であった駅前顔づくり施設が平成26年から10年以上経過しています。今年度に入札、契約、そして令和6年から7年度に建設工事、工事了了後運営開始を予定しておりますが、想定された未着手の他の事業について、今後どのように進めていく考えか。

以下について伺いたいします。

【答弁1】文化施設については、「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」に盛り込んでおり、当初計画していた場所は、現状、八幡平市立病院の駐車場として整備されていることから、駅東地区におきましては、建設のための用地が残っていない状況でござ

います。文化施設に関しましては、新市建設計画の中で、多目的型の文化交流施設の整備を図るとなっており、多目的文化施設に關し規模や運営手法などについて検討を重ねることとしている。本年度は、(仮称)八幡平市文化芸術推進計画の策定に向けまして、同審議会を設置いたします。その中でご意見を伺いながら、本市の文化芸術の推進に向け、ソフト・ハード両面の施策についてご審議をいただき、在り方の方向性をまとめたいと考えております。

【質問2】住宅団地整備や公園の配置計画がありました。今後とも計画に変わりがないのか

【答弁2】大更駅東側の住宅地整備につきましては、「八幡平市都市計画マスタープラン」、「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」及び「大更駅東側土地利用基本計画」において、日常生活や交通の利便性の向上により、定住化が期待される地域であると位置づけ、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進める計画としております。この計画に基づいて、駅東側の環境整備を進めてまいりました。

駅東側の土地利用につきまして、民間活力を導入した住環境の整備を視野に住宅地の形成を図ることとしており、これまでの公共施設整備等に伴う社会情勢の変化

を踏まえ、開発需要や住宅需要の動向などを見極めながら、6年度以降に予定しております「八幡平市都市計画マスタープラン」の見直しにおいて、検討して参りたいと考えております。

【質問3】(仮称)松尾鉾山記念公園の配置や、産直を兼ねた販売所あるいは観光案内所、そして支所機能が配置された2階建ての複合施設という計画で、総工費は約6億円を見込んだ整備計画が示されていた。現在では建設費約20億円とも言われている複合施設に変更しようとなっている。このことが原因で、未着手の事業が履行できない事態になれば、大変大きな問題ではないか

【答弁3】顔づくり施設については、社会資本整備総合交付金の対象事業にはなり得ませんので、あくまでもこれは起債あるいは基金の取崩し、これらによって財源確保しながら2年間で整備を進めていくということになるわけであり

【質問4】市道松子線の道路整備の見通しと踏切の改良などの進捗状況は?

【答弁4】市道松子線の改良につきましては、国道282号とJR花輪線大更駅西側を結ぶアクセス路線として、松子踏切の拡幅改良が重要であると考えております。

JR東日本との協議を必要とする改良計画が複数ございまして、事業毎の協議をお願いしているところですが、JR東日本の対応としては、複数個所の同時整備は難しいことから、事業の優先度に応じた改良協議を求められております。今後、森子踏切の移転時期等の協議が行われますことから、松子踏切の拡幅改良に係るJR協議は、森子踏切の移転の進捗状況を見ながら進めて参りたいと考えております。また、市東道松子線の改良整備につきましては、現在、駅口の事業として整備を進めております。市道大更中央線と市道赤森線を結ぶ市道大更駅東線の進捗状況や他事業との事業調整が必要となりますことから、整備内容や整備時期等について、検討して参りたいと考えているところです。

【質問5】市道「山子沢線」との連結に期待がかかる(仮称)大更南線」の整備計画と今後の事業方針は?

【答弁5】「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」において、生活道路の拡充を目的に、新たな交通・歩行動線を創出する位置付けで計画した道路でございまして通学路としての歩行環境の改善につながる路線であ



ると考えております。(仮称)大更南線を事業化する場合の財源といったしましても、社会資本整備総合交付金事業が想定されますことから、市道山子沢線及び市道森合線の事業の進捗状況や他事業と事業調整を図りながら、同上路線の必要性や整備内容及び事業の実施時期等について検討して参りたいと考えております。

学校給食費の負担軽減について



文科科学省が行った学校給食費の保護者負担軽減に向けた令和4年7月29日時点での各自治体の調査では、実施または実施を予定している自治体は全国で1,491自治体、83.2%という調査結果が出ています。学校給食費の負担軽減についてお伺いいたします。

質問 6
小中学生を育てる保護者の物価高騰などによる負担の軽減と、子育て環境の充実について八幡平市の考えは？

答弁 6 学校給食費につきましても、学校給食費より食材費が上

回ることとなり、当然その差額分につきましても市が補填するということとなっております。平成29年度には補填分が約500万円と増え、社会情勢などの影響により物価高騰が続いた昨年度は約1,200万円までに膨れ上がりました。今年度、学校給食費の引き上げによる改定を行ったところであり、しかしながら、今年1学期の状況を見ますと、すでに160万円ほど食材費が上回り、実際は市が補填している形となっているところであり、物価上昇による増額分について、今年度さらに学校給食費の引き上げをして保護者から負担いただくということは考えておりませんので、増額分を市が補填しているという点では保護者の皆様への支援にはなっているものと捉えております。

質問 7
国の交付金を活用し、学校給食費助成事業を実施していく必要があると考えますが、市の見解は？

答弁 7 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」につきましても、物価高騰分を学校給食費に転嫁する場合、いわば食材費増額分に対応して学校給食費を改定し、保護者負担を増額させようとする場合に、その増額部分を交付金で手当するものであると捉えております。学校給食費につきましても、基本的には3年に一度、見直しに向けた検討を行っていく必要があることから、今年度から令和7年度までは改定を行うことを

想定しておりません。この交付金の学校給食費への充当については、現時点では該当するものではなく、今後の物価高騰等の状況により、その活用可否を検討していくことが適切であるものと考えておるところであります。

雨水等災害時の避難対策について

令和1年に発生した東日本台風被害で、高齢者や障がいがあり、自力での避難が困難な避難行動要支援者の方など、多くの方が被災を受けました。本市の災害時の避難対策など、雨水等災害時の避難対策についてお伺いいたします。

質問 8
避難方法などの個別避難計画の作成は、市全体としてどのように推移しているのか？

答弁 8 災害時に自力での避難が難しい高齢者などの避難行動要支援者につきましては、避難行動要支援者名簿を作成しておりますが、名簿登録者は令和5年7月31日現在で3,051名となっております。先行的に大更地域と寺田地域、2つの地域において、それぞれの自主防災会のご協力を得ながら、作成に取り組んでおります。

現時点で大更地域では163件の計画が作成されておりますが、寺田地域におきましては現在作成中でございます。今後、2つの地域の取り組みを参考にしながら、他の地域でも計画作成に着手できるように進めてまいりたいと考えております。

質問 9
個別避難計画作成では、個人情報などの聞き取り、記載が伴う。本人からの開示拒否や不同意など、課題への市の推進策は？

答弁 9 現在は、同意をいただいている方の個別避難計画作成を優先して進めており、不同意者に対する取り組みは進んでいないのが現状でございます。今後、情報提供への不同意をされた方々に対して、個別避難計画作成の趣旨や名簿の個人情報などがきちんと管理されることなどを丁寧に説明し、ご理解をいただいた上で、同意いただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。



もう一つの取り組みとして、今後、名簿情報提供に同意がない方の個別避難計画の作成や同意者を

増やす取り組みについてなど、先進事例の情報や手段について調査研究し、本市の実情に合った取り組みに繋げてまいりたいと考えております。

質問 10
大更北村集落では避難時に県道23号大更八幡平線のアンダーパスを利用する避難者が多くと推測するが、ゲリラ豪雨などによる冠水への安全対策についての見解は？
また、危険を回避するため、西根バイパス東側の住民は、指定避難場所を八幡平市総合運動公園体育館などに変更ができないか？

答弁 10 大雨により北村集落に避難指示を発令する際に、県道大更八幡平線のアンダーパスが冠水の恐れがあると予想される場合には、開設する避難所を大更コミュニティセンターなどに指定する場合もございますので、防災無線や防災メール等を確認の上、避難していただきたいと思います。また、当該地域の避難所に指定されているからと言って、避難経路が被災しているような場合には、無理にその避難所へ移動するのではなく、災害の状況に応じた柔軟な避難をお願いしたいと考えているところですので、ご理解いただきたいと思います。
ご提案のありました「八幡平市総合運動公園体育館」につきましても、現時点での変更は考えていないところです。